

内閣総理大臣 安倍 晋三様

検察庁法改正案に抗議し、撤回を要求します

現在、国会に提出されている当該改正案は、政府や行政を監視すべき検察庁の機能を骨抜きにし、三権分立と民主主義とを崩壊させる危険な改悪であり、わたしたちはこれに強く抗議するとともに速やかな撤回を要求します。

この改正案は、特定の人事への関係如何にかかわらず、根本的に不公正なものであります。検察庁のみならず、他の行政機関および国会議員などの公職に就く者に対しても、人事権者となる内閣には逆らえないという圧力となり、主権在民を否定するものです。

住民を緊急事態宣言で自粛させ、街頭での反対行動を抑圧しながら、その間にこのような法案を提出する手法も反民主的であります。また政権の確保だけでなく、改憲反対者を威圧し、改憲を実現しようとの意図があると疑わざるを得ません。

貴職がこのような法案を強引に通そうとする様は、「朕は国家なり」とでも思い込んでいるとしか思えません。そのような反民主的な誤謬から覚めて謙遜に公僕としての職務を果たし、この法案を撤回してください。以上。

2020年5月13日

日本キリスト教会靖国神社問題特別委員会
委員長 古賀 清敬